

3月7日兵庫県高体連理事評議委員会があり、今年度の報告と次年度の計画・予定等が協議されました。その会の後には



名古屋大学大学院内田良准教授による「部活動の課題と未来」というテーマでの講演を聞きました。教員の仕事改革、部活動改革を中心に研究をされており、今後の部活動のあり方など一度話を聞いてみたいと思っていたので、良い機会をいただきました。部活動に全く反対というスタンスではなく、いかに生徒が自主的に活動に参加できるかという視点での今後のあり方を研究されているようです。教員の仕事もブラックと言われてから志望者が減少傾向にあり、もっと魅力を発信しなければという考え方は、部活動の外部委託については高校ではまだまだ多くの問題を抱えています。その方向に向かっていくようです。また校則についても理不尽な校則はやめようというスタンスです。勿論そのことは本校でも表現の問題であるとか、理解できないものは理解できるように変えていこうとしています。生徒自身が「考える力」を身につけなければ理解したことになりません。「なぜ」ということをしっかりと考え、答えを導き出せるようにするために、私たちの関わりが重要になってきます。まだまだ変わっていく時代に生徒とともに私たちも学びを深めていかねばならないと感じた講演でした。



3月7日は球技大会を行う予定でしたが、まん延防止等重点措置が延長されたため中止となりました。在校生の皆

さんにとっては残念でしたが、開催できる日を待っててください。その日に行く予定であった、全国大会壮行会を表彰伝達と合わせた行事として3月9日に全校集会を持ちました。表彰伝達では、2年生の総合的な探究の時間の発表に対する表彰もあり、様々なところで活躍してくれている本校生を頼もしく思いました。壮行会では3月20日から始まる全国高等学校選抜柔道大会48kg級に出場する横山りせさんが、力強く「ベスト8」目標と語ってくれ、私と生徒会長から激励をさせていただきました。悔いの残らないよう兵庫県代表として頑張ってください。健闘を祈っています。

そして3月11日複数志願選抜・生活科学科入試が行われました。願書受付に始まり、調査書審査を含め前日の会場準備など、万全の体制で臨むことができました。当日は比較的暖かく、過ごしやすい天気、1名の受検辞退がありましたが、元気に入試にチャレンジしてくれたように思います。あまり閉めることのない正門も閉め、緊張感を高めました。最後の英語(リスニング含む)も無事終了し、採点業務等合格発表までの判定に入ります。発表まで気を抜かずに行っていきます。受検生の皆さん、お疲れ様でした。



また3月11日は東日本大震災から11年目を迎える日でもありました。あの日を境に生活が一変してしまった方もたくさんおられます。日常のありがたさを感じる今日この頃ですが、今まであったものが奪われ、ある日突然なくなってしまうと心の整理もつきませんし、生活をどうスタートしていけば良いのか途方に暮れてしまった方も多かったのではないかと思います。前を向こうにも向けない状況から11年が経過し、周りの変化とともに少しずつ受け入れられるようになってこられたでしょうか？阪神淡路大震災もそうですが、風化されることが一番恐ろしいと言われています。経験を語り継ぎ減災につなげる、絆を大切に人の輪を広げていくことなど私たち自身ができる事をやっていくことで自然と語り継がれていくものがあると思います。また一度東北地方を訪れてみたいと思いました。また、こういったことを社高校に当てはめれば、令和5年に110周年を迎える本校が、今後何を語り継ぎ、変えていかねばならないものは何かなど、生徒は勿論、地域の要望、卒業生の思いなど状況をしっかりと把握して、社高校の今後のあり方を考えて行かなければならないのではないのでしょうか。どういった人材を育て、学科の特色を活かした教育を進めていくために何をすべきかなど、意見を出し合い、考え、前に進めていけるようにしていきたいと考えています。今後ともご協力をお願いいたします。